

ハローワーク出水 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、有効求職者数が長期的に減少していることから、雇用保険受給者の早期再就職支援が重要と考え、再就職活動をできるだけ早く開始していただくため、初回講習会では、早期再就職のメリット、求職活動期間が長くなることのデメリット、就業促進手当の活用を重点的に説明しました。また、初回認定日の相談では、就職を急ぐ度合いやハローワークの支援への期待度及び応募書類の添削、セミナー受講などサービスメニューの活用希望を再確認し、ニーズに応じた適切なサービスや情報の提供及び職業相談・紹介を行い、こうした取組等により雇用保険受給者の早期再就件数の目標を達成しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の計画的な職業相談技法の向上を図るため、若手職員は鹿児島労働局主催のキャリアコンサルティング研修を受講しました。

また、職業相談、求人受理業務においては、各種労働法の知識が必要となることや働き方改革関連法の施行に備え、川内労働基準監督署との共同研修を実施しました。

さらに、生活保護受給者等支援業務に関する知識の向上及び各部門間の連携を円滑に行うため、生活保護受給者等就労自立促進事業ブロック研修出席者が講師となり伝達研修会を開催しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

有効求職者数の減少が見込まれる中、求人充足支援を強化するためには、ハローワークを利用しない求職者のハローワーク利用を促進する必要がありますので、庁外の求人情報誌配置箇所数を 12 から 14 へ 2 箇所増設しました。

また、より多くの紹介をできるようにするためには、求人受付担当部門と職業紹介担当部門の連携を強めることにより、職業相談を充実させる必要がありましたので、平成 30 年 8 月から、職業相談時に応募促進ツールとして活用するため、充足支援として事業所を訪問した際や求人者の方が充足相談に来所された際、規定のヒアリングシートに沿って、求職者の関心が高い雇用に関する情報、求人票の仕事内容等をわかりやすく説明するために有効な画像情報及びアピールポイントを求人者から収集の上、データベース化する取組を開始しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成 30 年 12 月以降、有効求人倍率が 1.4 倍台で推移し、ほとんどの職種で求人数が求職者数を上回る状態が続いています。そのため、求人充足支援のさらなる強化が課題となっていることから、今後は、上記データベースに蓄積する情報の量的質的拡充を進めることにより、職業相談の一層の充実を図るとともに、満足度調査の求人者アンケートで求人者の皆様からいただきました御意見等を踏まえ、応募前職場見学や所内ミニ説明会に取り組んでいくこととします。

また、管内企業の人手不足解消に向けた各自治体の取組を積極的に支援していくこととし、その一環として、出水市が人手不足解消を図るため、ホームページ上において紹介されている市内企業の雇用に関する情報を求職者の皆様に応募の参考として活用していただくため、平成 31 年 4 月から、紹介されている企業の求人票を所内に掲示する場合は、当該企業の掲載サイトの QR コードを求人票に貼付する取組を開始しました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職者数
実績	2,432	2,203	572	79.4%	98.2%	21.2%	21.5%	70	4,414	1,098
目標	2,280	2,087	484	90.0%	90.0%	22.7%	23.8%	45	4,050	1,050
目標達成率	107%	106%	118%	88%	109%	93%	90%	156%	109%	105%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率